

体験型講座の実践例を紹介

全国各地で食育に取り組む唐津市出身の食環境ジャーナリスト、金丸弘美さん(55)が単行本「創造的な食育ワークショップ」(岩波書店)を刊行した。県内を含め、金丸さんが各地で開催している体験型講座の実践例を紹介している。食育のための教材の作り方なども資料付きで解説しており、務める。

実践に基づいた「テキスト本」だ。金丸さんは家族の病気をきっかけに食の安全に関心を持ったという。15年以上前から体験型の「食のワークショップ」に取り組んでおり、現在は有田町に事務局を置くスローフード推進団体「オリザジャポニカクラブ」の代表も務める。



食育の実践方法を紹介した金丸さんの著書

唐津出身、食環境ジャーナリスト

金丸さんが食育本発刊

食のワークショップは、イタリアに本部があるスローフード協会の活動を参考にしている。

著書では、地域の産物を題材とした教材作りや講座の進め方などを解説。唐津市や有田町、大分県、東京都、埼玉県での実践内容を詳しく伝え、地域全体を巻き込んだ食育活動を提唱している。

金丸さんは「実際に現場に行くと、やり方がばらばらで、地域でうまく連携できていない。自分が各地で試した結果を踏まえ、有効な手法をまとめた」と話している。全国の書店で販売中。1890円。

【姜弘修】



有田中部小の食育授業で講師を務める金丸さん

地域ぐるみでの活動提唱

限定せず、可能な限り広範な住民意思を尊重するよう配慮すること」との条件も付けている。

この日は、徳永代表やメンバー、紹介議員ら計8人が、熊本議長に86名を集め、市議会に追加提出する。同会は26日午

発原海玄
マルサーブル

住民投票求め請願書

唐津市民グループ、市議長に

る。プルサーマルがどんなものか市民に知ってもらうため、世論を盛り上げたい」と話している。

同会は11月20日まで署名を集め、市議会に追加提出する。同会は26日午

ハピリテーション科
人 智仁会
テーション病院
ーションよろこび
院長 吉原正博
1丁目17番1号
25)0231(代)

とびくす
鑑識技術向上
目指し発表会
佐賀 事件捜査の
カギを握る鑑
識技術・器材の性能向上
などを旨とした研究成果
の発表会が20日、県警本
部であり写真、入賞者
6人の発表と表彰があっ
た。
本部長賞には鑑識課の
溝口弘実警部補と同課の
一ノ瀬巨巡査部長が開発
した「静電気足跡採取器
足取り静ちゃん」が選
ばれた。
静電気を放電して足跡